

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

幼児教育無償化の対象とならない施設に通う子どもや保護者に対する支援の要望

願 意

2019年10月より実施の幼児教育無償化は「3～5歳の子供」が対象とされています。しかし「全ての子供」と表現されていながらも、実際には「幼稚園類似施設」は無償化の対象外となっております。現在各自治体に認定されている類似施設においては国が各自治体へ救済の要請をしているものの、自治体より助成や補助金を一切受け取っていない施設においては、対応の見通しが全く立っておりません。自治体に認定されていなくても、長年にわたり地域の幼児教育を担い、子供たちの発達を促す良質な環境を整備している園は全国に多数存在します。また何らかの事情で幼稚園、保育園に受け入れてもらえない子供たちの受け皿の役割を果たしている施設もこの類似施設に含まれているのです。それらの施設に子供を通わせている保護者には、この制度の目的である「子育て世代の負担軽減」が図られず、子供に格差が生まれ、不平等を引き起こします。

また、対象外とされた施設への入園希望者は激減し、将来的には園の存続が危ぶまれ、多様な幼児教育を行う施設が失われる事になり兼ねません。

つきましては、教育・保育・子育て支援する施設や幼稚園類似施設等は無償化の対象となるように制度の変更を求めるとともに、文字通り全ての子供たちが平等になるよう、十分な支援をお願い致します。

No.	氏名 (フルネーム)	住所 (「同上」「〃」を使用せず番地まで記入)
1		
2		
3		
4		
5		

* ご記入は黒のボールペンでお願いします

* 子供を含めたご家族全員のお名前を記入出来ます

* 修正液を使用せず、訂正は二重線(=)で削除して下さい

※ご記入頂いた情報は個人情報保護法に基づき

要望書提出以外の目的で使用することはありません